

自己査定、償却・引当等の状況(総括)

(単位:百万円)

自己査定に基づく 債務者区分	自己査定における分類区分				引当金残高 (引当率)	金融再生法に基づく 開示債権	リスク管理債権
	非分類	分類	分類	分類			
破綻先 140,356	担保・保証による保全部分 100,192	非保全部分 非保全部分の全額を引当て		個別貸倒引当金	226,439 *3 (100.0%)	破産更生債権及びこれらに準じる債権 326,631	破綻先債権 139,750
実質破綻先 186,275		22,724	203,715				延滞債権
破綻懸念先 303,944	担保・保証による保全部分 151,945	非保全部分 非保全部分の一部を引当て 112,248	非保全部分の全額を引当て 39,751	一般貸倒引当金	92,367 *3 (60.8%)	危険債権 303,944	489,782
要管理先 433,541	要管理先債権*2 今後3年間の予想損失率により引当て 432,980	分類の全額を引当て 58 503					67,143 *3 (15.5%)
要注意先 1,027,663	要管理先以外の要注意先	要管理先以外の要注意先債権 今後1年間の予想損失率により引当て 1,027,663		→	22,106 *3 (2.2%)	正常債権 6,971,065	貸出条件緩和債権 421,312
正常先 5,931,555	正常先債権 5,931,555	今後1年間の予想損失率により引当て →					11,029 *3 (0.2%)
総計*1 8,023,334					合計 419,084 *3 (5.2%)		リスク管理債権合計 1,051,226 *1 (13.2%)

*1 自己査定の対象債権は、貸付金(社債を含む。)及び貸付金に準ずる債権(未収貸付金利息、貸付金に準ずる仮払金、支払承諾見返及び未収金)であり、リスク管理債権の対象債権は貸付金です。

*2 「要管理債権」は個別貸付金ベースで、リスク管理債権における3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権に一致します。
「要管理先債権」は、「要管理債権」を有する債務者に対する債権額です。

*3 破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に係る引当率は非保全部分に対するもので、要注意先及び正常先に係る引当率は債権額に対するものです。

*4 信託受益権及び未収信託受益権利息は、便宜的に自己査定に基づく債務者区分を要管理先以外の要注意先に含めております。

1. 自己査定、償却・引当等の状況(融資勘定)

(単位:百万円)

自己査定に基づく 債務者区分	自己査定における分類区分				引当金残高 (引当率)	金融再生法に基づく 開示債権	リスク管理債権
	非分類	分類	分類	分類			
破綻先 140,229	担保・保証による保全部分 100,192	非保全部分 非保全部分の全額を引当て		個別貸倒引当金	226,277 (100.0%) ^{*3}	破産更生債権及びこれらに準じる債権 326,469	破綻先債権 139,750
実質破綻先 186,240		22,724	203,553				延滞債権
破綻懸念先 303,944	担保・保証による保全部分 151,945	非保全部分 非保全部分の一部を引当て	非保全部分の全額を引当て	一般貸倒引当金	92,367 (60.8%) ^{*3}	危険債権 303,944	489,782
		112,248	39,751				
要注意先 433,521	要管理先債権 ^{*2} 今後3年間の予想損失率により引当て		分類の全額を引当て	個別貸倒引当金	67,136 (15.5%) ^{*3}	要管理債権 ^{*2} 421,694	3カ月以上延滞債権 382
	要管理先以外の要注意先 1,025,108	要管理先以外の要注意先債権 1,025,108					今後1年間の予想損失率により引当て
正常先 5,418,308	正常先債権 5,418,308	今後1年間の予想損失率により引当て		一般貸倒引当金	10,844 (0.2%) ^{*3}		
総計 ^{*1} 7,507,350				合計 418,604 (5.6%) ^{*3}			リスク管理債権合計 1,051,226 ^{*1} (14.0%)

*1 自己査定の対象債権は、貸付金(社債を含む。)及び貸付金に準ずる債権(未収貸付金利息及び貸付金に準ずる仮払金)であり、リスク管理債権の対象債権は貸付金です。

*2 「要管理債権」は個別貸付金ベースで、リスク管理債権における3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権に一致します。

「要管理先債権」は、「要管理債権」を有する債務者に対する債権額です。

*3 破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に係る引当率は非保全部分に対するもので、要注意先及び正常先に係る引当率は債権額に対するものです。

2. 他勘定の貸倒引当金の状況

証券化支援買取業務勘定	17 百万円
証券化支援保証業務勘定	406 百万円
機械保険経過業務勘定	57 百万円